

平成29年度
三田市予算編成に関する
要望書

新政みらい

厚地弘行

田中一良

佐貫尚子

北本節代

中田哲

平成29年度三田市予算編成に関する要望事項

会派 新政みらい

【まちづくり】

(ソフト施策)

- ボランティア団体の紹介や体験ボランティアの実施
- 空き家対策 地元宅地建物業者の入居促進対策の啓発セミナーの実施やJ T I への登録料の補助制度を実施する
- 空き家、空き部屋を活用した「学生シェアハウス」「老人と学生」「老人同士」の研究
- ㊦ 地域おこし支援隊の人を市内の空き家に入居してもらうように勧める
- ㊦ 空き店舗を活用した三田のスイーツコーナーを設ける

- 地域公園の管理や歩道の除草を地域との協働で行う
- 地域相談員の配置 (地域担当制を見直し、住民の様々な相談に応える地域相談員を選任)
- 交通体制の充実
 - ①バス事業者と住民と市の協議によりニーズにあったバス路線に見直す。
 - ②バス、タクシー、送迎など高齢者が移動に困らない施策を早期に実施する。
- 子ども110番を効果あるものに
 - ①子ども110番の看板を旗に変更するなど、もっと目立つデザインを採用する。
 - ②児童への周知を地域(防犯グループ)の協力を得て実施する。
 - ③各小学校の通学路ハザードマップへ110番の家を明記する。
- 危険ドラッグの周知啓発
- ㊦ 三田マスターズマラソンを活性化させるためにファミリーマラソンをセットに開催する

(ハード施策)

- 三田駅北口側にも市民の力を借りて花壇を整備
- カルチャータウン商業施設用地の充実
 - ①学生寮等の誘致 ②カフェなど娯楽施設 ③国際交流の拠点施設
 - ④市民センター分館機能 ⑤大学を入れた「まちづくり協議会の設置等」
- ㊦ 相野駅前周辺整備、相野踏切の拡幅の早期実現
- ㊦ 本庄文化センターのあり方についての検討を行う
- 本庁舎1階ロビーにおいて、三田市関連のミニ博物館を設置。
- 庁舎内の防犯カメラの設置
- 各市民センター等への無線LANの整備

- 道路の早期整備（主要地方道三田西インター線、市道下相野－広野線、
・広野小近くの狭い市道を拡幅させる他）
- ㊦ 高校生が多く自転車通学する市道広野下相野線を車両の時間帯規制を行う
- 防犯カメラを市の主要道路や駐輪場、また通学路や商業施設等に設置
- 雨水側溝管理の徹底を行い市街地の浸水を防止
- ニセアカシアの樹木からの転換（あかしあ台に植樹しているニセアカシアについては、
外来生物法の要注外来生物リストに挙げられており伐採が検討されている植
物である。養蜂家には、なくてはならない植物ではあるが、成長が早く老木化や
高木化による倒壊の危険性も危惧されることから、今後の植え替えについては、
エキウム等低木やモニュメントなど、別のもので代用するように検討する。
- 歩道の根上がり補修整備と街路樹の間隔の見直し、維持管理費削減のための検討を行う
- ㊦ 市道の草刈りが十分にできていないので改善する
- ㊦ 武庫が丘から狭間が丘に抜ける緑道の照明器具をLED化する
- ㊦ 武庫川沿い歩道の（福祉センター～トーカンマンション）の足元が暗いので照明を設置する
- ㊦ 武庫川の河川整備を兵庫県に要望する（木や草が生い茂っている）

- ㊦ 公園施設に高齢者用健康遊具を増設する。更に遊具の使い方の指導と公園マップを作る
- ㊦ 三田谷公園の周回路の整備及び、健康遊具の設置
- 芝生グラウンドの整備
- フットサル場の建設
- 陸上、サッカー兼用の400メートルトラック含む競技場の整備
- つつじが丘内の市有地の利用を検討

【教育・文化】

- 基礎学力習得の徹底（習熟度別クラス編成、地域の人材・学生・塾講師による放課後の指導）
- ㊦ がんばりタイムを充実させる
- 英語力の強化対策
 - ①義務教育においてスカイプ等を用いた姉妹都市間でのフランクな語学教育
 - ②教育者にも語学研修（海外派遣研修）の制度を三田市独自で取り入れる。
- 道徳教育の強化（社会の規範意識、規則正しい生活習慣（箸の正しい持ち方等）を身につけるなどの教育を具体的に進める）
- 人権教育の見直し（人権意識の高まりと共に義務を果たさず権利のみを主張することが増えている。わがままを助長させることのないよう配慮が必要）
- 解放学級の見直し（被差別地区に限った解放学級は、被差別地区を残すことにならないか検討が必要。）
- 男女平等教育の一部見直し（男女が平等・対等であり、お互いの違いを認め特性を生かした教育を行う。男と女はすべて同じでなければならないと言う概念は改める）
- 近代史の学習を充実させ、平和教育の見直しを行う
- 日本伝統文化（茶道、和装等）を教育の一環として導入
- ㊦ ダンスの授業の中に社交ダンスを取り入れる（国際化のなかで有意義な授業となる）
- ㊦ 休憩時間は外で遊ぶことなど体力の強化を図る（子供たちの体力が低下している）
- ネットいじめ防止対策を強化する
- 入学・卒業式の過剰な演出を控え厳粛な式典とする（合唱曲数、代表者による送辞と答辞）
- 中学校に気軽に相談できるカウンセラーの増員を行う
- 環境教育のための燃料油化装置の導入
- 学校給食の充実
 - ①学校給食の地場産野菜等自給率の向上。
 - ②残された給食残渣の堆肥化等食育の一環として取り組みを進める。
 - ③三田の充実した学校給食の情報を市内外へ発信する。
- 学校給食センターの運営は、民間力の活用を研究
- 中学校部活動での外部指導者の採用（スポーツ21や民間事業者に委ねた指導者を導入）
- 放課後児童クラブの見直し（民間活力、地域力を活用する。児童のタクシー送迎を廃止）
- ㊦ チームによるアウトリーチ型家庭教育支援活動を進める

- ㊦ 国際交流協会との連携がうまくいっていないと思われる。（市の関りが少ないという不満）
- 図書館の充実を図るほか、図書のビブリオバトルを用いて啓発
- ㊦ 図書館の駐車場にゲートを設け満車の時には閉鎖する。また駐車場を広げる。
- ペDESTリアンデッキの花壇を移設して広場を拡張
- 三田の文化発信のために、市内開催のイベント情報収集を行い積極的に市内外にPR
- 能やオペラなどを、身近に感じることが出来るような学びの企画
- 「集いの円形広場」の活用(弥生が丘6丁目)

【市民病院】

- ④ 小児科、産科、麻酔科など医師・看護師不足を解消する
- ④ リハビリテーションの稼働日を増やす（連休中の休みを減らす）
- コンビニ受診を減らす啓発（三田健康医療相談ダイヤル24や#8000の活用、医師講習会等）
- ジェネリック薬品の導入推進と、薬品の品質・安全性を十分に考慮する
- ④ 院内薬局の再検討
- ④ 入院の各フロアにおいて車いす対応のトイレを増設する
- 駐車場利用の見直し（2階市民病院玄関口の障害者用駐車スペースを送迎用のみのスペースとして見直し、玄関口の混雑緩和を図る）
- ④ 病院内のコンビニエンスストアの拡張及び開店時間、品数等の充実を図る
(夕食の野菜等を販売してくれると高齢者には助かる)
- 展望レストランのグレードアップを図る（地場野菜の採用はどうなったか）

【福祉】

- 待機児童の解消に向けた対策を強化
- 中学生医療費助成を過度にしすぎて、親力を損なわないこと
- 子宮頸がん検診未受診者へ年内2度のクーポンの送付を実施し受診率アップ
- ④ 乳がん検診後の結果が正常でも、予防についてのアドバイスができる体制にする
- 高齢者の外出支援の充実
- 認知症カフェ運営のための相談や支援を実施
- 認知症予防対策について各市の事例から学び政策に活用
- ④ 100才体操の推進
- ④ 健康な歯8020運動の推進
- 手話言語条例の策定と、国家資格である手話通訳士の採用
- 自殺防止施策の充実（自殺防止のための施策である命の電話を設置する）
- 民生児童委員及び健康推進委員OB（経験者）の活躍の場の検討
- 福祉センターの利用者減免制度の拡充（障がい者団体等）
- 複雑化している福祉相談窓口を一本化する等、組織改善
- データーヘルス計画を基ににし、予防・管理を徹底し、医療費の削減を目指す。
(特に透析患者とさせない取組み)

【農業・商工観光】

- 市内生産物のブランド力を高める。
- 農業後継者への支援
- 農作物の鳥獣被害対策を強化（防御ネットの設置条件の緩和等）
- 耕作放棄地の解消。就農を目指す借り手と農家の貸し手のニーズ把握、仲介を行う。
- 農機具等のリース事業で、新規の就農者への支援を図る
- 農業戦略会議では農業活性化に積極的に取り組む。JA兵庫六甲との戦略の共有化を図る。
- 農村部とニュータウンの人的応援交流（ア）里山づくりに応援（イ）歩道の除草作業などの指導や機械の提供に応援
- 6次産業化を推進する
- 儲かる農業の研究（ア）松茸（イ）薬草（ウ）蜜花（エ）無農薬野菜（オ）輸出
- 畜産の職場体験を設けて、志のある若手を発掘し育てる。
- ㊦ 畜産への支援としてエサ代の補助など行う
- ㊦ 地域おこし隊を増員する

観光施策

- 「道の駅」を市内に建設する。パスカルさんだは農作物等の加工場として活用する。
- シーズンイベントを実施する。春は菜の花、夏は向日葵、秋はコスモスやそばの花プロジェクト、枝豆収穫ツアー、夜空天体観察や蛍鑑賞等。
- 農業エリアでの観光を目的とした民泊体験事業の実施
- 三田の食材を使用した季節弁当コンテストの開催を行い、三田の味覚として駅弁、桜ウォーク、農業まつりで販売する。
- 観光産業は産物だけではなく、歴史と文化を観光につなげる。

- 国際公園都市のイメージを発信、現在のオープンガーデンを大規模に発展させる。
- ビール発祥の地として「ビール記念日」を設ける。
- 「さんだ de サンタ」の開催、「スイーツフェスティバル」を充実
- ㊦ 淡路風車の丘の活性化
- ㊦ 有馬富士公園内にバーベキューコーナーを設ける
- 三田特産のお土産売り場の設置
- 三田地域振興（株）に三田の特産品の開発や営業部門を設置する。
- あきんど祭りの活性化を図る
- 新ビジネスの募集・審査や開業資金を市独自で融資する。
- ホームページや広報紙等で市内外へ、空き店舗の入居者を募集する

【環 境】

- 家庭から排出される生ごみの排出量抑制のための取り組みを検討する。
- 新たなごみ処理施設の建設計画を検討する。
- ごみ収集日を見直す、土曜日の収集は廃止する。

- 資再生可能エネルギーの研究 バイオマス・太陽光・小水力など
- 塩漬け土地の利用や水路、河川を含めて山林の管理方法を研究する。
- 山林の伐採木がゲリラ豪雨で流出し新たな災害を発生している。このため森林伐採木のパトロール等指導を実施する
- ㊦ 太陽光パネルの急増により景観等の問題がある。一定の規制が必要
- ㊦ 松枯れ、ナラ枯れ対策 (薬を注入、木炭を山に散布するなど)

【企画・総務】

- 市の施行記念式典の見直し
 - ①施行記念日は5年ごとの開催にする。(職員の功労者表彰式を同時に実施)
 - ②さつき受賞者には夫婦で市長との食事会か食事券を進呈する。
- ㊦ 庁舎受付業務を常時1名体制にとどめる
- ㊦ 施設の予約方法の見直し(午前0時からのスタートを改める、キャンセル方法の見直し)
- 施設白書の整備を行い市民に情報を提供する
- 固定資産を番号管理するなど台帳を高度化する。
- ㊦ 単車のナンバープレートで、キッピーのない通常のプレートも選択できるようにする
- 正しい個人情報保護の理解への啓発(個人情報の保護が誤って理解され自治会名簿、PTA連絡網などでコミュニティに不都合が生じている)
- オープンデータ活用促進
- ㊦ ふるさと納税を活用して全国規模の理科の実験や数学に関する川本幸民賞を創設し、川本幸民の知名度アップと学びの町三田のアピール及び生徒のモチベーションアップ
- ㊦ ふるさと納税を活用して高校生の交歓留学を補助する
- ㊦ 選挙開票作業のスピードアップ
(開票作業の開始を体育館に投票箱が集まった時点で行う等)

防災：

- 区長や自治会長、住民へ十分伝達できるようデジタル無線を整備する
- ㊦ 電波の届きにくい所から防災ラジオの整備を早期に進める。
- JCOMやeネットの通信網を最大限活用した災害情報の伝達の検討
- ㊦ 臨時災害用FMラジオを導入しFM電波の範囲を広げる
- ㊦ 三田駅前駐車場、新三田駅前駐車場の中でもラジオを聞こえるようにする
- 三田市のHP等災害時に集中するアクセスに対応できるように検討する
- 冷蔵庫に貼れるサイズの地域ハザードマップやカレンダー版を配布する
- ハザードマップ作成に、DIG(地域版図上訓練)の導入を検討する。

- 職員：
- 目標管理・自己申告・給料制度を合わせた人事評価システムに改善する
 - 土木、建築、電気、IT、機械、化学等専門職員の定期採用と民間経験の中途採用
 - 職員組合の交渉内容を組合側だけでなく当局側も明らかにする。議事録の公開。
 - 提案制度、プレゼンや表彰制度の活用で職員の意欲と職場風土を改善する
 - 他都市の先進事例への出張を充実する
 - 職員の接遇能力の向上を図る
 - 地域担当者をサポートするために地元職員の応援隊を募集する。
 - 業務中の交通事故を減少あるいは、なくすための具体策を講じる。
(運転無事故日数の表記、ドライブレコーダーの全車設置など)

以上